●レビューのクリティーク・チェックシート（作成：2020.6.1）

抄読する論文の掲載誌名： （IF:　　　　／雑誌のランキング　　　　　）

抄読する論文の被引用回数：

発表者氏名：

発表日：

抄読する理由：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | チェック項目 | チェック（◯△×） | チェックの理由（記載箇所を示すだけではNG） |
| タイトル | レビューの内容を示したタイトルとなっているか |  |  |
| レビューの種類が明確に記載されているか（※特にシステマティック・レビュー：SRやメタ分析の場合は明記されているか） |  |  |
| 抄録 | 雑誌の投稿規定に沿って、研究の要約が簡潔に記載されているか |  |  |
| 序論 | このトピックについて、既に知られていることは何か(先行研究で分かっていること、まだわかっていないこと)について記載されているか |  |  |
| このレビューの必要性が記載されているか |  |  |
| レビューの目的を明確に示せているか（※SRの場合は、さらに対象者、介入、比較対照、アウトカム、研究デザインが明確に特定されているか） |  |  |
| 方法 | レビュー対象論文の選定基準が記載されているか（研究デザインや言語など） |  |  |
| レビュー対象論文を検索するためのソース（CINAHL、MEDLINE、医中誌などのデータベース、その他レビュー対象論文を同定した方法）が記載されているか |  |  |
| 検索データソースから具体的にどのように検索したのかが記載されているか（使用したシソーラスやキーワード、絞りこみ方法など） |  |  |
| レビュー対象論文の選定プロセスが記載されているか（※SRはこのプロセスが非常に重要である） |  |  |
| ※SRではレビュー対象論文で取り扱われている変数のリスト、定義、および前提やその単純化したものが記載されているか |  |  |
| 各レビュー対象論文の結果の統合方法が記載されているか（※SRの場合、論文結果を要約している主要な測定結果や統合した方法が記載されているか） |  |  |
| 累積したレビュー対象論文間における、統合した結果に影響を与えるバイアス（公表バイアスや選択バイアスなど）のリスクの評価について記述しているか注） |  |  |
| 結果 | 選定された論文の数や除外した論文の数、理由が記載されているか（※SRではフロー図で明確に除外された論文や選定された論文の数や内容の記述が必要である） |  |  |
| 選定された論文の特徴が明確に記載されているか |  |  |
| 選定された論文間のバイアスのリスクの評価についての結果が記載されているか |  |  |
| 考察 | レビューのメインとなる結果が簡単に要約されているか |  |  |
| 研究デザイン、アウトカムレベル（バイアスのリスクなど）、およびレビューのレベルにおける限界（論文検索の限界や公表バイアスなど）が記載されているか |  |  |
| レビューによる結果（特にSRの場合）が、実践（政策、教育、臨床など）にどのように活用されるべきかについて記載されているか |  |  |
| レビューの結果の総合的な解釈や今後に必要な研究について記載されているか |  |  |
| 資金提供者 | 研究助成などの資金源を記述しており、利益相反の恐れはないか。（研究内容に照らし合わせて、研究資金の有無の妥当性も確認する） |  |  |
| 現在の研究のもとになっている大規模研究がある場合、資金のところに記載しているか |  |  |

※はSR（システマティックレビュー）に特有のもの／注）バイアスについては「Ⅲ章／2.研究方法のクリティーク／②データの収集方法」（p.95）、および「Ⅲ章／3.研究手法ごとのクリティーク／②量的研究」（p.115）を参照

**参考文献**

Moher, D., Liberati, A., Tetzlaff, J., Altman, D.G., The PRISMA Group. Preferred reporting items for systematic reviews and meta-analyses: the PRISMA statement. PLoS Medicine, 6(6), 2009.

★チェックシートについてわかりにくいところがある場合は、本書に例を挙げて詳しく説明していますのでぜひ参考にして下さい。

『研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク』（<http://jnapcdc.com/cq>）